

就労希望者への移住促進のアプローチについて（継続）

人口減少が全国共通の課題である中、桐生市では昨年、移住支援フロント「むすびすむ桐生」を開設するなど、移住・定住の促進に向けて取り組まれていることと存じます。

この移住支援をさらに促進するために、専門知識や技術を有する人材とそれらを欲する市内企業とのマッチング事業を要望いたします。企業側のニーズをデータベース化し、インターネット上に整備したプラットフォームを公開することで、就労希望者を全国から募ります。

この取り組みは、既に他県では民間企業による成功例もありますが、情報の信頼性や利用者の安心感などのメリットから桐生市においては、是非とも行政主導による実施を要望いたします。

また、既に桐生市では事業継承マッチングサイトを民間企業と共同運営しておりますが、今回のマッチングシステムを構築することで、人手不足に直面する市内企業の人材確保難の解消にも貢献できるはずで

す。リモートワークが一般化し、地方への移住が増加傾向にある今こそ好機であると考えますので、何卒ご検討いただけますようお願いいたします。

桐生市からの回答

専門知識や技術等を有する人材と、それらを欲する市内企業のマッチングは、人材側への「魅力ある働き先の提供」と、企業側での「即戦力人材の確保」の両面で効果が見込まれ、その推進は強く期待されるところであります。

このマッチングを効果的に推進する媒体として、企業ニーズをデータベース化したプラットフォームを行政主導で実施することについてご要望をいただいておりますが、その構築・運用に関しては、費用面の課題のほか、企業ニーズの収集や更新等を行う実施主体等、検討しなくてはならない課題が多数あります。特に、企業ニーズの収集・更新等については、貴所との連携協力が必要不可欠であり、実施主体の問題も含めて、総合的に研究・検討等を行っていく必要があると考えております。

市におきましては、移住支援フロント「むすびすむ桐生」のポータルサイトにおいて、きりゅう暮らしに関する様々な情報や魅力等を発信し、多くの方に閲覧していただいております。また、民間サービスの「オープンネーム型事業承継マッチングプラットフォーム」を活用した第三者承継の促進を図っているほか、令和6年度は人材採用サービスに強みを有する株式会社リクルートと、県内初となる「桐生市の地域活性化に向けた地域定着と雇用促進に関する協定」を締結し、市内企業の採用力強化や魅力ある求人情報の発信等を促進しております。

今後も、これら取組みを複合的に推進するとともに、貴所を始めとする関係機関等と連携を図りながら、更なる推進策の検討等も行っていきたいと考えております。

[回答担当] 産業経済部商工振興課工業労政担当